

愛媛労働局長が「ベストプラクティス企業」を訪問しました！ (南海放送株式会社)

愛媛労働局長（瀧原章夫）は、11月の「過重労働解消キャンペーン」の取組の一環として、令和3年11月5日（金）に、「脱・長時間 創・自分時間」をコンセプトとして、時間外労働の削減をはじめとした働き方改革を積極的に実践している南海放送株式会社(ベストプラクティス企業)を訪問しました。

○ 今回訪問した企業

企業名：南海放送株式会社

所在地：松山市本町1-1-1

労働者数：114名（令和3年10月末現在）

事業内容：放送業



私たちは、愛媛主義
南海放送
Fnam
エフナン91.7 91.2

○ 訪問当日の状況

訪問当日は、大西代表取締役社長、松崎取締役常務執行役員にご対応いただき、働き方改革の取組状況についてお話を伺いました。

大西社長は「働き方改革はトップのみで作るのではなく、社員と協力しながら実施するもの。時代の変化を捉え、より良い制度を作り上げなければならない。そのためには、失敗を恐れず、試行錯誤を続けていくことが重要です。

そして、働き方改革を社員に浸透させていくためには、

『見直し続ける、変え続ける、言い続けること』が大切です。」

とお話されていました。

その後、報道ブースやラジオエリアなどを巡回し、ご担当の方から各部署での取組や、職場の働きやすさの状況について、お話をお伺いしました。



【対談の様子】



【職場視察の様子】



○ 働き方改革の取組効果

- 働き方改革の取組を始めた平成29年から1年後の平成30年に、**社員全体の時間外総労働時間数が対前年10%削減**、令和2年は平成29年と比較して**約27%削減**
- **ストレスチェックの集団分析結果**による職場の「いきいき度」が全国の事業場の中で**上位16%に入る好成績**(SBアットワーク社調査)
- 日本健康会議が認定している**健康経営優良法人(大規模法人部門)**について、放送局で**初めて認定**、かつ**令和2年から2年連続認定**



○ 働き方改革の主な取組事項

1 経営トップによる働き方改革の宣言

平成28年に当時の田中和彦代表取締役社長(現会長)が、代休が消化しきれない社内の状況を踏まえて、**社員がきちんと休める職場づくりに変革する必要があると決意**し、働き方改革の取組を開始しました。

同年には、松山市内122の企業・団体等のトップが一同に会した「イクボス宣言」に参画し、長時間労働の削減や職員のワーク・ライフ・バランスを実現することを内外に宣言しました。

2 勤怠管理システムの導入による時間外労働の縮減の実施

改善前の労働時間の管理方法は、始業、終業時刻をまとめて月末に把握していたことから、上司、人事担当は、社員が日々及び月に時間外労働を何時間行っているかが月末まで不明であり、その結果、時間外労働時間数の増加に繋がっていました。

そこで、**新たな勤怠管理システムを導入**し、月30時間以上の時間外労働が生じた場合には、**社員本人、上司、人事担当にリアルタイムで情報共有がされる**など、日々の労働時間を可視化することで、労働時間の把握や時間外労働が多い社員に対するフォロー等を行っています。

また、**労働時間の分析を行う勤務管理会議を創設**し、毎月の時間外労働時間数が多い社員の分析や、分析結果の上司へのフィードバックを行うことで、時間外労働の縮減を図っています。

3 業務量10%カット(G10ダイエットプログラム)の実施

業務全体の在り方を見直す観点から、「**業務量を10%削減させること**」を目標に掲げて、**各部署で業務改善を提案し実行**することで、働きやすい職場環境をつくっています。

【主な改善事例】

- ・ラジオの編成現場において、業務遂行に必要なスキルを一覧化(スキルマップ)し、職員が複数の業務に対応できるようした(業務の多能工化)。
- ・不要な会議を統合・削減し、会議資料についても簡素化を行うことのルールを明確化した。
- ・視聴者から寄せられるお問い合わせについて、電話のみで対応していたところ、メールでも照会、回答できるシステムを導入した。



4 メンタルヘルス対策の推進

平成29年から4年連続でストレスチェックを全社員が受検するとともに、受検対象者を非正規社員やグループ会社全体までに広げて実施しています。

また、ストレスチェック結果の集団分析の活用により職場の「いきいき度」の把握を行い、職場環境の良い部署については、社長賞として表彰を行っています。

ハラスメントの撲滅に向けては、レスキューメール（相談窓口）の設置やマネジメント研修に力を入れています。

5 コミュニケーションの活性化

- 働きやすい職場の実現に向けて社員が考えるパワースプレズを社内（トイレ）に掲示しています。他の社員がパワースプレズを読むことで、社員一人ひとりの考え方や意識を共有することができ、会話づくりの促進の一助になっています。
- オフィスのフリーアドレス化を実現し、これまでかかわる機会が少なかった社員と接する機会を増やして、社員同士のコミュニケーションを活性化しています。
- 年末の仕事納めに感謝の意を込めて、関連会社を含めた全社員に無料でカレーを提供し、1年の仕事の労をねぎらい、会社と社員、社員同士の信頼関係を深めています。

新型コロナウイルス感染防止のため2020年、2021年は休止



【パワースプレズ】

写真はSDGsの取組を掲示

【フリーアドレス化されたオフィス】

【カレー納会】

○ 訪問を終えて瀧原労働局長からのコメント

南海放送株式会社は、健康経営という考え方に早期に着目し、経営者トップ主導による職場環境の改善に積極的に取り組まれた結果、時間外労働時間数の縮減に繋がっています。

そして、同社は放送業が担われている企業責任を果たすため、働き方改革によって生まれた時間を新しい価値を創造するための時間に費やすことで、さらなる企業の成長と地域社会への貢献を図っておられます。

働き方改革の取組を進めるに当たっては、社員の長年の慣習や意識を改革することに苦労したものの、諦めずに変え続けることで、少しずつ社員全体にも変化が生まれてきたとお聞きしました。

是非、県内の企業の皆様にも同社の取組内容を参考にさせていただきまして、自社の働き方改革を実行していただきますようお願いいたします。



【大西社長(右)と瀧原局長(左)】

働き方改革の取組に向けては
[こちら](#)をご参照ください。

